



日本共産党
菊池のぶひろ

日本共産党

菊池のぶひろ議員は

くらし・福祉の 願い実現へ

お約束

あなたの声を議会にきちんと届けます!!

みなさんと力をあわせ
ほかの議員にも働きかけ実現します

市政にもの言う議会

市政をきちんとチェックし、「いいことはいい、悪いことはだめ」といえる議会をつくります。

住宅リフォーム

住宅の増改築費の一部を市が助成する制度です。地元の建設業者の仕事がふえ、経済の活性化に役立ちます。

国保税の引き下げ

高すぎて払いきれない国保税。所得の一割を超える世帯も少なくありません、市の財政調整基金（ためているお金）は毎年五億円ずつ増え、今年二四億円を越えています。その一部をとりくずすだけで、引き下げは可能です。

原発ゼロ

もうすぐ廃炉期限を迎える東海第二原発の再稼働を許さず、原発ゼロの日本をめざします。

ムダな公共事業の中止

真壁町桜井の端上林道工事は三十年間で六億七千万円使っています。完成までに、あと二十六年かかるというのが市の答弁です。県と協議して中止するよう求めます。

議会ごとに議会報告

議会ごとに「新しい桜川」を発行し、また、街頭からも議会報告いたします。

新しい桜川号外

2014年夏

発行/日本共産党桜川支部
責任者/菊池伸浩

☎ 0296-75-3856

日本共産党の実績と政策を紹介します。

小中学校の教室へ
クーラーの設置

最近の猛暑は異常です。小中学校の教室にエアコンを設置し、学習に集中できる環境をつくり、子どもたちの健康を守ります。

3分の1は国庫補助

市民の声を聞き、現場に足をはこび、しっかりした

日本共産党

調査にもとづいて成果をあげた

菊池のぶひろ議員の実績

3・11大震災

- 「り災証明書」の申請の必要性を掲載した「地震被害に役立つ情報」を発行しました。市の見舞金制度、県の見舞金制度の活用をいち早く提起しました。
- 放射線マップを作成し、全戸配布
福島原発事故の放射線被害が問題となった時、放射線測定器を購入し、放射線マップをつくり、全戸配布しました。個人のお宅にも、依頼があれば伺い、測定しました。
- その年の12月議会では、学校給食の放射線検査を要望し、翌年の6月から測定が開始され、今も続いている。
- 「東海第二原発の廃炉」請願の趣旨採択に尽力
2012年9月議会では、「東海第二原発の廃炉を求める請願」が4000筆近い署名を添えて、出されました。議会内外で菊池議員は奔走し、県内23番目の「再稼働しない」という趣旨採択に尽力しました。



＜放射能測定＞

中核病院問題での「異常な議会運営」で正論を展開

中核病院をめぐっては、2年間にわたって「異常」ともいえる議会運営が続きました。「臨時議会での議案審議拒否」、「議長が議長席をおりての反対討論」、「懲罰議員の全日程出席停止」などです。これには、菊池議員は徹底して議長の責任を追及し、最後には、議会全員協議会の場で、議長から「言葉足らずであった」との謝罪を引き出しました。

中核病院・県西病院では県にも国にもいき交渉しています



＜県交渉・左側が菊池議員＞

菊池議員は、国会議員、県会議員に仲介してもらい、県医療対策課へも厚生労働省にも出向き、〈聞き取り〉や〈要請〉をしています。



＜厚労省交渉・左から2番目が菊池議員＞

県西病院存続を求め街頭宣伝、チラシ配布



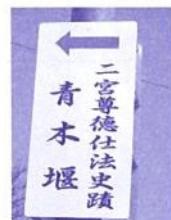
＜県西病院の演説＞

県西病院が「診療所」になる危険が生まれた時(昨年秋～冬)、菊池議員は市内350ヶ所の演説、6500枚のチラシ配布に取り組みました。今年1月24日には市議会は、全員一致で「県西病院存続」の決議をする一助になりました。

市民の声を議会に届け・実現



＜伝承館駐車場＞



＜青木堰＞



＜石匠のみち＞

市民の声に耳を傾ける菊池議員は、市民から寄せられた声を議会でも取り上げ、実現してきました。
《岩瀬庁舎前の青柳歩道橋の撤去》
《大和地区青木の二宮尊徳仕法史蹟の案内板取り付け》
《国道50号線沿いの「石匠のみち」の案内板書き換え》
《真壁伝承館駐車場の見えにくいポールの撤去》